

◆新たな地方創生のための市民アイデア募集 ※原文を尊重していますが、個人を特定する文言は修正しています。

No.	区分	年代	アイデア
1	空きビル対策/ コンパクトシティ/公共交通/北大通/移住	70代	<p>先ず北大通周辺地域の空きビルの対策が急務と思います。人口減少に伴い釧路も中心街にコンパクトな街づくりを目指す事が大事になると思います。インフラの維持管理費を考えると1軒当たりの単価を下げるにはコンパクトな街づくりを目指すのが最も重要だと思います。先ずは公共施設を出来るだけ中心街に集約する、例えば医療機関や教育機関（市立病院、北陽高校等）を長期にわたり集約する。釧路空港から中心街までの短時間路線等、交通の利便性を確保して生活に必要な機能が集約されれば必然的に人が集まり商店街が出来上がると思います。</p> <p>また、夏の自然環境が最高です。涼しいうえに天然ミスト（濃霧）があり、おまけに花粉症がなく冬は雪が少なく滅多に雪かきしなくてもよいです。本州から観光客、移住者、介護療養を幅広く呼びかける。空き家をイノベーションして低価格で斡旋する。</p> <p>更に北大通の1車線をパーキングエリアとしメーターで有料とし管理は警察OBに任せる。</p>
2	空きビル対策/ コンパクトシティ/中心市街地・北大通・駅周辺整備/防災/若者の活躍	40代	<p>現在、釧路町に在住しておりますが、生まれも高校も釧路市であり、また仕事を通じて間接的に関与している者として、以下の点について提案させていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・釧路駅について <p>これまで私は、釧路駅の高架化や北大通から駅裏への直通化について賛成の立場を取ってきました。しかし、議論が進まないまま長い時間が経過し、その間にも釧路市や周辺の人口は減少を続けています。早急に進めるべき問題にも関わらず、現在の停滞状況は釧路地域全体にとって良い影響をもたらしません。</p> <p>このため、道内最後の民衆駅として貴重な存在である現駅舎をそのまま活用し、耐震補強や改修を行うことで「昭和レトロを感じられる観光スポット」として再開発することを提案いたします。最低限の予算と工期で、意外な集客効果が得られる可能性もあります。現に、鉄道ファンの中ではプレミアム感のある現駅舎に価値を感じている方も多いそうです。同時に、駅周辺、もしくは駅直結の場所に、札幌駅のJRタワーのようなランドマークを建設することも提案いたします。この施設は普段は観光や行政の拠点として利用し、震災時には津波避難タワーとしても活用できるような多機能の施設とすることが望ましいと考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街地について <p>平成時代以降に定着した商業エリア（昭和・鳥取地区など）はそのままに、シャッター街化が進行している北大通には、釧路のこれまでのまちづくりとは異なる視点での変化が必要だと思います。例えば、補修が可能なビルを若者や新規事業者に格安で貸し出し、最低限の予算でチャレンジができるように。そうであれば釧路駅から幣舞橋まで一定のコンセプトを持った街並みに作り替え、若者・観光客・夏季滞在者をメインターゲットに滞在人口を増やす「新しい北大通」が出来上がることを期待しております。また、武佐や桜ヶ丘など、津波に強い地区を再開発し、釧路市の定住人口を高台へと分散させることも一つの案だと思います。コンパクトシティーの考え方が求められる昨今ですが、釧路の立地や歴史、災害リスクを総合的に考えると、全てを一点に集約することが本当に最良なのか、議論の余地があるように感じます。</p> <p>以上、二点について提案させていただきました。これらがまちづくりの参考となれば幸いです。</p>
3	観光振興	40代	<p>夕日や河沿い、漁港、高台等の観光資源を活かす、観光客がお金を落とすような施設等が必要だと思います。飲食店や物販といった事業への支援を行い、見るだけではなく観光として利益の出る施設を作り出す。レンガ倉庫を耐震化し、他の港湾都市に倣い観光施設として利用する。釧路市に行きたくなくなる魅力のあるスポットの創設を目指す。</p>
4	公共交通/北大通	40代	<p>附属義務教育学校の駅前への移転を提案します。現状の場所へのアクセスの不便さを考慮し、釧路バスの経営悪化による路線の減便により保護者は定期券の購入よりもマイカーでの送迎が増えている。駅前に校舎があれば乗り換えせずにも学校への通学ができる子供が増えれば定期券の購入に繋がり釧路バスの経営改善につながる。子供が駅前に集まる事により街の活性化が図られる。図書館が北大通にあることを活かせる。北大通には塾がたくさんあり、中学生が学校終わりで塾に通う際には街中での滞在時間が増えることで飲食店経営にも期待ができる。子供が街中に行くことで大人も必然的に街中に行く。北大通の活性化には学校移転が望ましいので、釧路市で学校の校舎を建築し附属義務教育学校に賃貸借はできないだろうか。</p>
5	空きビル対策/ 駅周辺整備/移住/情報発信	50代	<p>市外、道外から移住してもいいと思ってもらえるくらいのしっかりとした体制を確立させる。恵庭市など他市町が成功している。 https://www.rals.net/journal/hokkaido-migration/immigration-eniwa/</p> <p>駅舎、駅中、駅周辺の大開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地下道や地下空間を造成する ・汚い空きビルや空き地を一旦リセットして多様なショップが数多く開店できる土地を駐車場込みでを整える <p>遠方からでも魅力を感じてもらえて来てもらえるようなスポットを造り、人を大きく動かさなければ、人口も経済も衰退の一途を辿るだけ</p>

No.	区分	年代	アイデア
6	空きビル対策/ 北大通/ 福祉	10代	障害者のための就労支援施設を作り、昔みたくビルを再利用に遊園地を作りにぎわいをつくる
7	生活環境	40代	地元のスーパー(小売店)のレジで会計時に、釧路市民以外は5%OFF、釧路市民は10%OFF
8	産業	50代	釧路市で米作り支援 過去(雄別炭鉱時代)に、阿寒山花付近で米を栽培していた事もあるので、米栽培希望者を全国的に募り、5カ年程度支援を行えば、人口増加の効果もあるのでは。
9	空きビル対策/ 北大通/ 情報発信/ 雇用	60代	◎ 北大通や駅前などに廃ビルが多く街の印象が悪いので解体する ◎ 北大通に道の駅を新設して人を呼び込む ◎ 雇用場所確保のためにはIT産業や企業の誘致 ◎ 釧路の気候や自然などについての発信力が低い
10	産業	50代	日本製紙跡地に大規模な養殖水産研究所を創設
11	子育て	未回答	釧路市内、町内にはこどもを遊ばせる室内遊戯施設が少なすぎます。ゲームセンターは沢山ありますが、今の物価高の世の中、毎週は連れて行けません。湿原の風アリーナや、ちびっ子マンデーは乳幼児向けメインとなっていて、小学生に上がってしまうと敷居が高いです。寒い時期が長い釧路だからこそ、広い年代が遊べる施設が必要だと思います。身体を動かして遊べるような施設だとより良いと思います。(釧路の子どもの肥満率も高いため)休日、親子で充実した時間を過ごすことは親の仕事へのモチベーションを上げる事にもつながります。将来的に子育てがしにくい事があり、釧路を離れる若い年代は多いです。子どもの笑顔は、釧路を救います。季節を問わずに連れて行ける室内遊戯場の検討をお願いしたいです。
12	子育て	30代	個人的な意見になってしまいますが、子供の一時預かりの場所や情報を増えたらいいなと思いました。兄弟の付き添い入院の為、一時預かりを探しましたが急遽預かってもらえる場所がありませんでした。あと、各々の保育園に連絡して確認しなくてはならず、市などで情報を一元管理してくれるといいなと感じました。

No.	区分	年代	アイデア
13	防災/情報発信/生活環境/雇用/教育/コミュニケーション/インフラ/ふるさと納税	30代	<p>お疲れ様です。釧路在住の映像系フリーランスの者です。今回、面白そうな企画を聞いてしまったので、下記述べさせて頂きました少しでも力になれば幸いです。</p> <p>① 安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生 外国人（特にアジア圏）の増加に伴い、騒音・ゴミ出し問題などルール違反が懸念されています外国人を雇用する企業に対し、問題発覚時に警告通知を発行する仕組みを導入（警告の段階ごとに色を変更、メール・電話・封筒で送る）市が実施できる範囲での罰則対応を検討（※外国人に注意しても効かないので経営者の方を狙う。呼び出しくらいはできる？）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害対策の強化 港湾地域に防波堤・テトラポットの設置や、地震・津波警報時に作動する可動式防潮壁の導入。避難施設（学校・保育園・幼稚園など）に太陽光パネル、高架水槽、スターリンク、小型バッテリー、食料備蓄をし、災害時の支援拠点化。人がいる施設であれば水は常に交換され、生徒に運営をお願いする事で防災意識の向上に繋がる。 <p>② 東京一極集中のリスクに対応した人や企業の地方分散 インフラ整備が進めば、地方から都市への通勤も可能に（例：リニア中央新幹線の発展により、釧路在住でも札幌へ通勤可能） 教育レベル向上による地方での独立・起業支援 「小中高でITスキル（動画編集、ライティング、プログラミング等）を学び、企業に依存せずお金を稼ぐ方法もあることを理解させる</p> <p>③ 付加価値創出型の新しい地方経済の創生 地方経済で近年の成功例が安芸高田市の元市長石丸さんや滋賀県彦根市長の和田さんの例だと考えています。どちらもふるさと納税で数億円以上の売上を出しました 「釧路を代表するタレント・インフルエンサーを育成し、ふるさと納税による収益を拡大 「SNS戦略を活用し、「ヒト・モノ・カネ・情報」の発信を強化、釧路の特産品を全国、世界へ販売 釧路市役所の公式YouTubeチャンネルなどを活用し、ライブ配信で議論 「投げ銭・メンバーシップ制度を導入し、収益化を目指す</p> <p>④ デジタル・新技術の徹底活用 釧路独自のアプリ「くしろ」を開発し、地域企業と市民を支援 歯科・美容室・眼科の予約、タクシー配車、出前注文、車検、葬儀予約、市民の意見収集など全てを一元化し、AIが案内。地元の個人経営者の集客支援にも活用-アプリ内で上位表示させる</p> <p>⑤ 「産官学金労言」の連携など、国民的な機運の向上 機運の向上がそもそもその場所がないという問題点かなと思いました。私も地元釧路で様々な活動をしたいが協力者などを見つける手段が少ないと感じています③で記載したYouTubeライブ配信での議論が活発な場所提供になると考えます。 以上になります。やっとな若い市長の方になり応援しております！スタッフの皆様もお疲れ様です。頑張ってください！今後の発展を応援しております。</p>
14	空きビル対策/防災/市職員	30代	<ul style="list-style-type: none"> ・廃墟ビル放置罰則条例 →廃墟ビルが長い期間放置されることは、景観を害することだけでなく安全面や健康をも害することに繋がると考える。 景観法に違反するとして持ち主に対して罰則を強化することにより、廃ビル対策が進むのではないかと考える。 ・くしろ防災対策条例 →今後発生する地震に対して、市民の防災意識を高めていく。被害を最小限に留めることができるように一人ひとりの知識を高める。被災後のイメージも持つておくことが大切。また、町内会などのご近所さんの繋がりが防災対策に関しては重要なことと考えます。 ・あとは、公務員の副業解禁とかですかね。本業に支障が出ない程度に副業を解禁していくべきだと考える。今後釧路の人口は減り続け、相対的に労働人口も減り続ける。その街の顔見知りを増やすことに繋がったり、その人が持っている潜在能力を引き出すことによって生きがいやアイデアの創出等様々な効果が生み出されると思う。
15	観光振興	70代	<p>釧路市は素敵な湿原があります。広大な湿原でただ見るだけでは楽しくありません、あの広大な湿原一面に花を咲かせるか、何か食物を植えるか、にして観光にしたい。もう一カ所、赤提灯横ちよですが、帯広のいなり小路みたいに通路にテーブル出して、外で飲めるようにしたら、客が客を呼ぶと思います。私も広島から来て3年に成りますが、そう感じました。小さい事ですが、釧路にもっと観光客来て欲しいから。</p>
16	北大通/観光振興	60代	<p>◎北大通などの空き店舗を起業家が使用できるよう店舗所有者と連携する ◎伊福部進の生誕地でありゴジラのモニュメントを設置して観光場所とする</p>

No.	区分	年代	アイデア
17	空きビル/公共交通/北大通/駅周辺整備/生活環境/雇用	30代	<p>インフラ整備として、駅、廃墟の徹底整備。道路、町中の歩道の整備。雑草、荒れたコンクリートなど。公園整備。空港内のお店、サービスをもっと良くする。JR釧路駅も。人が外にでてお金を使う環境をつくる。</p> <p>例えば、豊洲ららぽーとのような商業施設を誘致する。有明ガーデンなど。イオンのようなフードコートではなく現代的、オシャレな。内、外でも楽しめる施設。子育て世帯～老若男女が楽しめる。バスでも通える!!</p> <p>幼児、子供、お年寄りに配慮した施設。働くところが増え、また、職種選べて、給料がしっかりもらえたら、地元で就職する考えにもなる。IT系も含め。</p> <p>・ちびっこマンデー利用でM00内、駅前が栄えていたら子連れで散歩すると思う。</p>
18	子育て/雇用	40代	<p>・安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生</p> <p>時短勤務を小学校入学までではなく、せめて小学校4年生あたりまで引き上げて欲しいです。子供の面倒を見てもらえる人が居らず、退職するという選択肢を取らざる得ません。働きたいのに働けない現実です。もしくは、学校・児童館の開所時間を早めて欲しいです。閉所時間も伸ばして欲しいです。少しでも時間を過ぎると外に出されます。朝は8:30始業なので、現在の開所時間では仕事に間に合いませんし、残業があると閉所時間に間に合いません。そうすると退職して子供の時間に合った勤務形態を選択するしかありません。</p>
19	観光振興	60代	<p>・海外のメディアを利用して北海道南西部へ集中してするインバウンドを道東へも誘致し人を呼び込む。</p> <p>釧路には数多くの飲食店、ホテルなどがあるためインバウンドを受け入れるだけのキャパを有しており、道東のハブ拠点として十分に役割を果たすことが可能だと確信する。外国人から見る日本は日本人が捉える感覚と異なるため、いくら地元民が推したところで彼らにとっては刺さるポイントが異なる。小学生の集団登校であったり古い木造の牛舎や民家の軒先で昆布を干す作業など地元民にとってはごく当たり前の景色や慣習も海外の人たちにとって驚きの出来事や興味をそそる習慣と言うものが多々ある。島根県の何の変哲もない小さな田舎町が米国のNew York Times紙に取り上げられた事でインバウンドラッシュになっている事が事例である。よって海外メディアの記者に声をかけメディアツアーを実施させ、釧路を拠点に道東の様々な場所へ自らの意思や興味で出向いてもらいそこで彼らの得たもの感じたものを記事としてメディアに取り上げてもらうことで釧路の知名度を上げインバウンドの誘致促進を図る。</p> <p>メディアの記者を読み込むために交通費と宿泊費用くらいは負担しないと来てもらえないが、記事として著名なメディアに取り上げさせる事が出来れば費用対効果は比較にならないほど大きいものがあり、またその効果や影響力は大なものになる。</p>
20	コミュニケーション	30代	<p>釧路に住んでいて思うことは人との新しい出会いがほぼなく、居住者同士や転入者と新しくつながることもなく、ぜんぜん面白くないことです。そこで、人との交流（コミュニケーション）をメインにした半民半官のコミュニティバーを作ると人の新しい出会いが誘発され、活気が出ると思います。例えば、東京の「しごとバー」、人と人をつなぐバー「THE FLYING PENGUINS」といった取り組みは参考になると思います。普段は学生であったり、主婦であったり、会社員であったりする様々なスタッフが兼業で集まれば、お互いに出会いが生まれて面白いでしょ地域民とふれあいたい釧路外の人との出会いの場としても有効です。</p> <p>フードは調理に手間のかかるものは出せないでしょうから、ピンチョスなど簡単な料理を月替わりで市内の飲食店にプロデュースしてもらうことで、コミュニティバーをハブとして、市内の飲食店の宣伝を促すこともできるでしょう。コミュニティバーならではの飲食店のコラボレーションメニューを出してもいいと思います。コミュニティバーのスタッフが基点になり、お客様同士の間関係を構築することで、コミュニケーションが苦手な人同士でも釧路だと、こうした場があるから人間関係が作れて、いい町というイメージと実績をすることで、住民満足度の向上、関係人口の促進を図ることが可能と考えます。これは半民半官だからこそ、より信頼度が得られる施策だと思います。</p>
21	コミュニケーション	30代	<p>釧路にいと、イベント事の少なさが退屈ですし、行ったイベントで怪しい勧誘に巻き込まれたりすることもあり、厄介です。</p> <p>また、釧路外から著名人を招き、講演会が催されることもありますが、「すごいね」で終わってしまいます。より住民同士がお互いのことを知り、結びつきを高め、この小さな町からインパクトを起こすための政策として「住民によるトークイベント12カ月連続開催」イベントを仕掛けてはどうかと思います。</p> <p>事例として、札幌100人会議 (https://100ninkaigi.com/area/sapporo)、北海道の楽しい人 (https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%8C%97%E6%B5%B7%E9%81%93%E3%81%AE%E6%A5%BD%E3%81%97%E3%81%84100%E4%BA%BA)、コミュニティリーダーズサミットIN道東といったイベントが挙げられます。その地域に住まう人が根掘り葉掘り聞かれたり、討論することで、釧路にどんな人がいるのか、若者や高齢者や〇〇業の人、移住者はこう考えているというのを知ることができ、地元民の交流が図れて、新しい関係性が生まれることがメリットです。</p> <p>トーカーは、自薦他薦問いませんが、オーディション形式で語れる人をピックアップするとよいでしょう。12カ月連続で各テーマを設け、討論することで、市民参加型のイベントをつくることができ、退屈な釧路をちょっとでも面白くできると思います。トーカーには、地元で使える商品券や協賛品がもらえるといいですね。</p>

No.	区分	年代	アイデア
22	コミュニケーション	30代	市議会議員がどのような想いで普段の市政に向き合っているか知りたいので、数回に分けて市民との公開討論会を気楽に聞けるイベントにして、土日に開催を義務付けて実施してほしい。 平日の討論会では仕事や学校でまず聞きに行けない。議会だけが政治の場ではないし、市民の信頼あつての政治だと思うので。
23	空きビル対策/観光振興/インフラ	40代	フェリーの誘致。物流でのドライバー不足解消と広い道東観光を車でした方が効率的なので。 鶴公園と阿寒国際ツルセンターをひとつにした方が観光しやすくして良いのではないかと？ 警察署移転後の空き地に振興局を建てたらどうか？ 人口減少で駅の利用率も下がるなか釧路駅を今更高架にしくなくても良いので街中の廃墟を取り壊して欲しい。
24	空家対策/公共交通/教育/スポーツ	未回答	1. 高校の普通科を減らし地域にあった高校にする 例えば白糠と阿寒の高校を合併して釧路農業高校にし、農業生産力を増やす。釧路の普通科を減らし専門科を増やす。調理パティシエ科、水産養殖科、観光外国語科、服飾デザイン科等、地域を活性化し、卒業して地元で働ける学科をつくり産業振興を図り、若者を外から集める。 2. 空家対策 空家を公費で解体してキューバみたいなまちなか農園として貸し出す。地域コミュニケーションの場としてナチ中に賑わいと楽しみが増え、人が集まる。 3. 高齢者無料スポーツ公園 高齢者無料スポーツ公園を柳町公園の中に整備して健康増進を図り、医療費の抑制と元気な老人を増やし、地域に貢献してもらう。 4. 公共交通 タクシーとバス会社で共同で東西南北を循環する手を挙げたら市内一律500円で乗り降りできるバス・タクシーを走らせると釧路の交通の目玉として注目されるのでは。市民にとって街を気軽に移動できる手段としてありがたい。追加料金で自転車もOKならなお良い。
25	観光振興	60代	道東への旅を考えた場合、東京以外はいったん千歳に入り、そこからの移動になるため、道東はとても遠い場所になっています。 また、期間限定便として、夏のみ、各地から、多少あるくらいなので、四季折々、美しいという宣伝が、足りないのだと思われます。一般には道東の冬は寒すぎるだけとされています。実際には、冬の楽しみは多く、十分観光の要素は有ります。これは道東の人も、認識不足だと思います。宣伝と来やすさに、伸びしろがまだまだあるとおもいます。花咲線は、宴会列車、こたつ列車など、イベント列車を投入して、景色を楽しんでもらうこともいいかと思えます。夏などは駅での、ヨンゼロソフトの販売や、花咲カニの駅弁、ルパンとのコラボなどの、現地期間限定での集客などイベントをかんがえてはいかがでしょうか。道東が活発な地域へと変わるために、釧路への交通ルートを確認し、道東を国内外からもっと近い場所にして、道東全域で、おもてなしをすることを提案します。
26	観光振興	20代	・釧路市中心部 市役所並びに出世坂・交際交流センター・末広地区・釧路川沿いのライトアップ(常時イルミネーション化) 僕は釧路市を歩き回り。写真を撮っている者です。幣舞橋の夕日の時間の観光客(外人含む)の多さは凄いです。日没後の人の少なさも凄いです。わざわざ夕日を夕方に見に来て。夜はホテルに居なくなってしまうのならばイルミネーションの街として客を呼び込めれば中心地の活性にも繋がるのではないかと。末広地区の繁華街ももっとお客が来るようになるのでは無いか。と思ひまして素人の浅はかなアイデアをここに書かせて頂きます。
27	子育て/スポーツ	10代	小さい子どもの頃からスポーツをたくさん経験することが心身の成長に大きな影響を及ぼすと聞いたことがあります。 しかし昨今の物価上昇や円安によって、スポーツを始めようと思っても道具代などが高額で簡単に始めることが出来ない実態があると思えます。 氷都と呼ばれる釧路でアイスホッケーの人口が減ってきている原因のひとつは道具代の高騰だと思います。そこでスポーツ助成金などを設け、新たにスポーツを始める子供たちの道具代などを支援してあげれば、スポーツ人口も増えることにつながると思えます。これ以外にも子育て支援を充実させることで少子化対策にも繋がると思えます。検討よろしくお願ひします。
28	中心市街地・北大通・駅周辺整備	30代	SNSにて、釧路でも徒歩による人が集まる場所の創出ができないか、という話題がありました。例えば、現状でも徒歩で人が集まる場所は末広界隈でしょうかから、釧路川のリバーサイドと柳町公園(やその南側広場)にて、週末の夕方から夜の時間帯限定で、マーケット(酒のつまみ、お土産(夜に買えるところが無いはず)、雑貨・等)を試験的に実施(出店してくれる店舗には市から補助を出すなど)し、反応が良ければ曜日や時間帯拡充を行いつつ、他のエリアも検討していくのはアリかと思ひました。
29	観光振興/自然・景観/スポーツ	60代	釧路市の人口減少は避けられず、経済を観光の強化を強める事が重要だと考えられます。 そこで、旧日本製紙跡地を東京神宮外苑のようにして、鳥取神社を移転し、春には桜の名所、秋には楓の紅葉などインパクト需要を目指し新富士駅前活性化させ、一大人工自然公園にしたら、市民も楽しめる場になるのではないかと思ひます。その中にスポーツ施設(屋内スケート場)などもあればさらに活性化されるのではないのでしょうか。

No.	区分	年代	アイデア
30	観光振興/教育	50代	釧路市と釧路市動物園の発展を願って記入させていただきます。釧路市動物園のどうぶつ達の様子を駅、空港、市役所関係施設、市立病院等待ち合いロビーなどで短時間でも配信していただくと関心や親しみ、生きる希望を感じる方が増えたり、観光客の方へのお出迎えやまた来ていただくようなアピールにつながると思います。政策アイデアとはいえないかもしれませんがよろしく願います。
31	公共交通/自然・景観	60代	花咲沿線、武佐駅から別保駅間にて、花などを植える。殺風景な原野に、色を添える。芝サクラ、サクラの木、ツバキ、藤の花、アジサイ、菜の花、コスモスなどを植える。種類が多ければ、開花時期がズレ、車窓からの眺めは楽しめる。チューリップは、シカに食い荒らされるので植えない。費用は、市の税金になるであろう。土地所有者から原野を借り受ける。原野の開拓ゆえに、希少生物が棲息しているかもしれない。その時は、開発を断念する。平地にするため、重機が入るであろう。小路を作れば、散策路になる。駐車場が必要かもしれない。植樹は、学校行事、ボランティアで行う。花咲線の乗車率が上がるかもしれない。咲き誇るのに、5年はかかるであろう。花泥棒が出没するだろうから、監視カメラの設置は必須だと思う。
32	産業/雇用	50代	釧路市は、寂れるだけ寂れてしまったので 今更何をしてもう手遅れだと思います ただ一つだけ、今最も注目されている 千歳市に建設されているラピダスのような、経済も人も大きく動く大規模な何かがあれば変わるかもしれません。西庶路や白糠、あるいは標茶に向かう途中の広大な土地。自然を傷つけないような方法で。
33	市職員	60代	通常業務に支障のない範囲で、公務員のバイトを認める。公務員法はムシする。中途採用の人ならばよいが、他の業種の就労経験のない公務員は、世間知らずゆえに企業の内情を知らない。農業・酪農・漁業、流通・飲食店・タクシーなど、繁忙期の手伝いなどをする。バイトをする場合、事前事後に上司へバイトの届け出をする。女性公務員で、ススキノの風俗営業でのバイトも、認める。このバイトの目的はその職場のパワハラ・セクハラ・脱税・労基法違反を探ることもある。市役所は、そのスパイ行為をその企業に悟られないように、努める。公務員であることを就労先に周知させる場合は、癒着には、気をつける。副業をした公務員は、真面目に税金を納める。
34	子育て/移住/市職員	40代	〈保育園留学やサマーキャンプなど、市外の学生、子育て層が参加できる企画を実施してください〉 人口減少対策として、こどもを産み育てたいという希望を持つ若い世代を定着してもらう、という前期の考え方を継承するとしているものの、移住定住対策、長期滞在の取り組みでは、しっかり親となる世代にターゲットが定まっていない。 親となる世代（もしくはすでに子どもがいる親）を市外からの流入を促すには、釧路近郊での保育・教育の現場を体験できる機会が必要と考える。近年、保育園留学というスキームが確立され、実施している自治体も多い。 釧路市は冷涼な気候が特徴である。保育園留学でなくとも、「サマーキャンプ」など一時的な取り組みでも良い。市内の教育機関と協力して市外の学生や子育て層が参加できる取り組みを行なってください。 実際に東京に住む友人を釧路での長期滞在に誘ったとしても、親の仕事がオンラインで対応可能だとしても子どもの受け入れ先がなく、長期滞在は実質不可能な状況。 「斬新な」アイデアという前に、やれることをやってください。できないと思うなら、どうすればできるか？前例踏襲しているだけでは何も変わりません。管理職など年数が長い職員は、若い層の声を聞いてください。若い世代が意見を話しやすい環境を作ってください。 まずは職員一人一人が意識を変えなければ、釧路市は衰退していきます。
35	スポーツ	60代	釧路市広里に、夏の甲子園を誘致する。夏は、暑すぎる。釧路市で、高校野球を開催する。バスの運転手不足につき、市内のホテルは使用しない。広里の施設を簡易宿泊施設として活用する。テントを設置する。近隣の民泊を認める。キッチンカー、移動式パン屋、移動式販売車に広里へ来てもらう。民間のタクシーを認める。釧路市への誘致につき、兵庫県、甲子園球場、大会委員会、テレビ局、スポンサが認めるだろうが釧路市職員が、営業交渉に奮闘して下さい。ちなみに自分は、野球スポーツには関心ありません。
36	その他	60代	釧路市の英語表記には、正確な英語を使う。日本国内には、誤った英語が活用されています。世界的に通用する和製英語ならばよいが、アメリカ人には通用しない和製英語がはびこっています。看板、標識にも通用しない英語が表記されています。英語を扱う文科省の教え方に、問題があるのだろう。釧路市で、標識、看板、書籍。印刷物などには、正式な英語を活用しましょう。釧路市、市民に、誤った英語表記の使用を禁止します。変更には、多大な費用がかかります。
37	観光振興	40代	・観光閑散期の地元民が利用出来るクーポン ・ガイド不足育成のため、大学生から小学生までが学べる場所の提供(生計たてられるようにも仕組みづくり)
38	子育て/観光振興/教育	30代	釧路の自然は雄大で資源だと思えますが、それを案内できるガイドが不足していると聞きました。そこで、将来のガイド育成もかねて、大学生などに若い人向けへの自然体験や育成プログラムや将来の生計の立て方のモデルプランなどがあるといいと思います。また、小学生や未就学児向けのアウトドアスクールなど、地元民への自然体験の機会が増えれば、この自然の良さを体験を通して実感出来、将来、仕事にしたいと思える人が増えると思います。

No.	区分	年代	アイデア
39	中心市街地/若者の活躍/イベント	20代	<p>大学生や若者が中心部に来る仕組みづくりが必要！ 公共の場でのイベント開催の申請がもっと簡単になれば、やってみたいという方も結構いると思います。公共施設は縛りがキツイため敬遠されがちです。釧路市には娯楽が少なくそれも若者が出ていってしまう原因のひとつではないでしょうか？小学生くらいまでは遊学館や博物館、図書館など行きますがそれ以上の年齢が集まる遊び場はイオンくらいです。お祭りや花火の時に毎回「こんなに釧路って人がいたのか！」と驚かされます。例えば毎週末に若者中心のイベント（ライブや講演会、交流会）があると分かっていたら、休みの日はふらりと中心部を訪れるという人も増えると思います。また若者の主な移動手段は自転車や自動車なので駐輪場や駐車場をもっと増やして欲しいです。 ずっと釧路市に住んでいる人は駐車場に止めるのに料金がかかることに納得いかないことが多いです（都市部では普通ですが感覚が違います） 観光客や移住者、通勤族も大切ですが、長く釧路市に住まう人を育てなければ街はどんどん衰退していってしまうのではないのでしょうか？ 若者が「釧路市に残りたい！」と思わせるには娯楽を増やすことが一番手っ取り早いと思います。遊び場の招致、イベント開催のハードルを下げる、市と市民の連携を期待します。</p>
40	観光振興	30代	<p>釧路湿原の観光資源の活用について 外国のインバウンド目的だけでなく、市民も恩恵を受けられる政策を期待します。税金がもっと市民にも還元され、地元民が地元を愛せるように、誇りを持てるように。市外への人口流出を防ぎ、市民一人一人が釧路の観光大使となり、釧路の魅力を発信できるようになるためにも、釧路の素晴らしい所を今一度振り返ってみてはどうでしょうか？ 閑散期の観光地の市民割引や利用クーポンの発行。カヌーや湿原のレジャーなど観光価格でなかなか利用できず、地元の方がその魅力を認識していない印象があります。湿原はもちろん、野鳥や鹿猟など、全国的にも世界的にも自慢できる釧路市の観光資源を守るためにも、観光産業を支える方々の育成や雇用の安定、官民一体となった観光誘致の発信が出来たら、ステキだと思いました。 大人が釧路が好きで盛り上げようと試行錯誤していたら、子どもたちも釧路に誇りを持ち、地元に残ろうが残らまいが、きっと地元思いを寄せてくれと思います。釧路の人口規模だからこそ、できる政策はたくさんあると思うので、ぜひ市民ファースト、一部の企業が恩恵を受けるだけでない政策も今後充実していけますよう、祈っております！</p>
41	子育て/教育/移住	30代	<p>子育て関連の地方創生 若者(子育て世代)を呼び込むには教育が充実しているかが求められている釧路の自然を活用した教育どんな活動をしているのかワークショップや体験入学ができるような取り組みがあると安心できる親子で長期休暇を利用してそういったことを体験したり市や行政が使われてない民家などを提供してその間貸してくれるようなシステムがあると集客できるのでないか</p>
42	インフラ	60代	<p>地方はインフラの整備が足りない。公共交通などがもっと充実することが必要</p>
43	移住/教育/その他	50代	<p>過疎化対策として、子供の頃から地元愛を育む。 例：学校などで、未来の釧路像を描く課題。僕の私の夕日ベストスポットを発信。伝え合う。若いうちから地元のイベントに携わる機会を増やす 市外からきた大学生などが、そのまま住みたくなる支援を。就労支援。起業支援。家賃を下げる。奨学金を一部免除にするなど。駅周辺などの賑わいを生むために。チャレンジショップのチャンス。大都市以外の色々な地域からの移住支援を充実させる。</p>
44	空きビル対策/北大通/	60代	<p>北大通の空きビルの再利用。お化け屋敷を運営する。老朽化しているため、通常のテナント営業は困難であろう。全館使って、お化け屋敷として開業する。この利益で、建物の解体費用を稼ぐ。スタッフが、日タイイベントを工夫する。1階は、受け付け、駐輪場、トラックの荷受け場、タクシー乗り場、キッチンカー、トイレ、休憩場、氷室(末広町の雪をここに集める)にする。2階以上のフロアをお化け屋敷とする。 この売り上げから、地権者に賃貸料を支払う。スタッフの報酬、電気ガス水道光熱費、駐輪場代、施設修理費維持費、建物の解体費用、市税などをまかなう。特殊メイク、衣装裁縫、理美容師らの技術者を育成する。北大通側の建物は、解体して立体駐輪場にする。セルフサービス式。 北大通に人が来る提案です。●気が向いたら、スタッフは街にくり出て歩行者を驚かす。スマホで撮影して、ネットに上げる。犯罪者に、間違われないように注意する。●お化けメイクで、買い物をする。飲食店で食事をする。</p>
45	空きビル対策/若者の活躍	40代	<p>若い世代がチャレンジしやすい街作り 空きビルや古民家(空き家)を活用したチャレンジショップ(ファッション、飲食、ライブハウス、eスポーツ会場等)</p>

No.	区分	年代	アイデア
46	自然・ 景観/教 育	40 代	<p>・富士見球場をパーマカルチャー フォレストガーデンにしたい！ 自然の中で生きものが豊かな若い森をモデルに、実りを収穫しながらも豊かさを維持する森のデザイン手法「パーマカルチャー」と呼ばれるデザイン手法のひとつで、自然と生きもの、人が大切にされるための文化を創造する仕組みを作る。高木、中低木、低木、野菜という順に実りある森を里山を作るように作り出す、パーマカルチャー フォレストガーデンを釧路市内に作りたい。作り出すことによって、子育ての体験の場になる。釧路でも木の実が実り収穫する喜びを知る。野菜も育てて、土を触り体験することができる。公園として、小さな森を感じながら散歩できる。釧路では、田舎なだけけれど、あまり土に触れる機会も少なく、気温も低いので、あまり育てて収穫する喜びを体験する機会が少ないので、みんなで育て作り守る、フォレストガーデンがあったら、その体験ができて良いお金持ちだけが、お金を払って貴重な体験ができる教育の貧富の差も大きいです。植物を育て、調和の取れた森にすることは、とても豊かな教育活動にもなる。その場を、提供してほしい。憩いの場としても、作ってほしい。</p> <p>総合的な、活動ができる場でもあるので、ぜひ、富士見球場をフォレストガーデンにしてほしい！ また、地盤が緩いと聞く地域なので、植物が根をおろし、地表や地中をしっかりとってくれるので、地震の時に崩れる可能性も回避できるのではないかと思います。地中深くに根をおろす植物、地表にしっかりと根を張る植物の混植もしっかり学びながら作り上げていきたい。 参考になりそうなサイトのURLを添付しましたよろしくお願いします。https://www.theartofforestgarden.com/forest-garden</p>
47	情報発 信	30 代	<p>すきっぷカードやハポートなどを組み合わせたような「くしろアプリ」が欲しいです。国内外の観光客向けに限らず、地元の飲食店、観光スポット、公園や遊び場検索、避難所検索、知りたい情報に関する相談窓口、多言語対応、こども平仮名対応、歴史資料や解説、当番病院、大小様々な団体のイベント情報、使われている地元食材や地元素材、アレルギーやハラールなどの対応表示、くしろの今を知る総合的なウェブサイトやアプリを充実させてほしいです。</p> <p>加盟店やスポットにアプリと共通のマーク表示をつけてもらうなどして、QRを読み込んで地図や情報表示したり、キーワード検索したスポットまでの路線バスや観光モデルルート紹介があったり、アプリを使ったスタンプラリー（写真やキーワードをヒントにスポットを探すなど）で観光を楽しんでもらう、お店や団体の各種SNSにリンクさせたり、今あいてるお店の検索など、マルチにつながるものを望みます。</p> <p>参加する団体の会でこの政策やフォームについてのワークを行いました。よく耳にしたワードが「アピール、PR、SNS、周知、情報共有、横のつながり、連携、市民の声」でした。今まで食べログにも載らなかったようなお店や、地元民がスルーしがちな歴史や昔の情報、こんな団体あったんだ、こんな所で習い事やイベントが出来るんだなど、様々な興味関心から釧路の良さを発信していけたら、国内外の方にも理解してもらいやすいと思います。各団体が個々にウェブサイトやSNSを作るだけでなく、それを取りまとめて探すツールとして市民にも活用してほしいと思います。</p>
48	ふるさと納税/ 観光振 興	未回答	<p>① ふるさと納税で釧路の魅力が伝わりにくく感じる。ふるさと納税を通じて、釧路を応援する人も少ない現状がある。 釧路の地で取れる新鮮な魚介や乳製品以外にも、野菜、肉も食を網羅した美味しさがここの地、釧路にはある。オイシックス釧路ver. のような一食分の調理可能なパッケージ、そして、旬を届ける意味でも季節を通した2.3回のお届け便はいかがだろうか。さらに、地元では活躍している栄養士さん監修であれば、付加価値がつくのではないかと考える。</p> <p>②もう一つ、釧路の最大の魅力は自然を通した観光である。 体験型アクティビティのツアー（釣り、カヌー、湿原ガイド）の他、地元で活躍されているフットパスの街歩きにも価値を感じている。歴史を知り、街を歩く、また地形を知るなど、ブラタモリ釧路ver. のような形に残らないが、有意義な時間の提供も釧路の魅力を伝える方法の一つだと考える。</p>

No.	区分	年代	アイデア
49	教育/市職員	60代	<p>[主旨]人口増のため若い子育て世代を定着させるためには「子育て支援と教育」のハード/ソフト面の充実が不可欠。定住・移住したくなる街か、学校は楽しいか [現状]ハード（経済）面の支援は向上しているが、ソフト（精神）面が全く追いついていない。達成率50%とは到底思えない（困っている親の対応先がない。予防策を講じていない。学校のSSW等不足、連携不足、情報共有不足、また改善するための行動をしようとしなないなど、実際の声から） [提案] （1）早急に改善したい（出来る可能性がある）こと4提案 ①形だけでは無いコミュニティスクール/チーム学校運営：コムスクを導入している学校、及びその質に格差がある。 ②親の精神サポートプログラム「ペアレンティング勉強会（親業）」の定期的開催：これは「困り事のある親」だけでなく、予防策にもなる＝SSWや教員の負担軽減、学校や社会の幸福感向上にも有効。（添付資料）現在、個人ボランティアで開催しているので「金や人がない」という言い分けは無効。また釧路町教育委員会は近日中に開催予定。（釧路市教育委員会へは3度説明に行ったが、後援すら断られた） ③学校に親も子どもも相談できる、教員ではない「第三者」を置く（山口県下関の中学校の例） ④教師の精神的な負担を軽減するためにも、学校の教育方針の見直し、情報共有、ワークショップ開催を定期的に行う＝自主性・自立性を高める教育の根本的な意図を理解して欲しい：学校や教師により自主学習・家庭学習の差がありすぎる。統一性がなさ過ぎる（自主学習なのにプリントを強要する、読書を自主学習と認めない。全く宿題の無い支援級と、宿題を強要する支援級など事実に基づく） 自主性・自立性を高める教育方法に格差あり。（「連帯責任」を強要する。「友達の悪いところを言い合って謝らせる」など事実に基づく） （2）参考 他地域で行っているもの（規模が大きいのですぐの実施は難しいが理想としたいもの）2案。 ①町ぐるみの義務教育運営（1～9年生）：安平町早来学園 *安平町HP参照 ②自然活用の教育：子どもと一緒にワーケーション移住体験。自治体が建物借り入れて。森の幼稚園とともに。 （3）その他 経済支援、社会教育関連など ①中古制服の活用（回収、補修、販売）：中高生の家庭経済支援。誰がするか、既存の衣料品店の経営との兼ね合い等問題点はあるが、実際に助かる家庭は沢山ある。英国では学校（PTA）がやり、売り上げはPTA収入となる。 ②「街を良くする」ための教育＝子どもが将来政治に関心を持つ（だから教育＝政治）：今回の「市民アイデア募集」を呼びかけるイベントは大変有意義。学校でも是非やるべき。但し、意見をまとめて終わりにせず、そのフィードバックも公表（実施までの見込み期間及び結果）しなければ意味はない。 ③留学や移住者の促進：「井の中のかわず」にならないように、釧路を外から見る、外を体験して比較する事象を持つ。知らないだけでそれが当たり前の世界と思わないように、五感で知ることが重要。 [最重要] 行政（市役所）内にも定期的に外部からのアセスメントシステム（機能評価機関）を入れる：無駄はないか、くだらない大人のいじめはないか、各所の連携はとれているかなど。以上</p>
50	空きビル対策/中心市街地/若者の活躍	50代	<p>○将来を担う若い世代を積極的にまちづくりに巻き込んでいく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イベントや祭りの企画段階から小中高生や大学生に入ってもらうため、学校の活動として認められるよう働きかけるとともに、市民活動のグループと繋げていく人材を支援する。 ・ 駅前等の中心市街地の空き店舗を若い世代が活用してチャレンジショップを始められるよう、導入経費、家賃補助を既存より手厚くし、その活動を支援、伴走する団体に対しても支援していく。その団体が将来的にまちづくりを主体的に担うことができる制度や行政が資金的な支援以外に制度や規制緩和等で若い人の活動を積極的に支援していくエリアとして指定する。そのことによって、若い世代の自由な活動の拠点が大北通に増え始め、自ら働く場を創設していく意欲を育て、地元へ愛着を持てるようにしていくことができると考える。（学生、若年層のチャレンジ特区）→ 廃墟は新たな活動のチャンスと捉えポジティブなマインドを醸成 ・ 上記の活動をやってみたい人を市内だけでなく、若い世代がコトを起こせる拠点として全国から募集して移住促進に結びつけるのも方法ではないだろうか。 ・ 将来の釧路を担っていく現在の小中高大生対象のまちづくりワークショップを中心市街地で定期的にできるだけ多く開催し、まちの当事者として巻き込むアクションを起こしていく。既にお話会、勉強会など、場を作っている人を活用し、行政が費用面の支援もしながら民間主導の動きを作ってみてはどうかと考える。 <p>※現在のまちづくり活動は年齢層が高い人たちが中心、また既存の団体が主導という構造になっており、縦割りが強く、団体や商店会の横の繋がりが弱く、一体感のある活動になっていないと感じられる。その状況が続いてきているため、10代、20代の若い世代がまちづくりに参加しづらく、世代の分断が若い世代が釧路を離れていく要因になっているのではないかと考え、将来の当事者たちに今から参加できる仕組みを作って動かしていく必要があると痛感している。その思いから上記の意見を書いた次第です。まちづくりの主導権を若い世代に譲っていけるかが釧路市の将来を左右する重要なポイントではないかと考えています。参考になれば幸いです。</p>

No.	区分	年代	アイデア
51	空きビル対策/北大通/若者の活躍	70代	釧路には大学や短大もあるので学生に活躍の場を与える。北大通やその周辺には空家や空き店舗が多くあるのでこれを学生に無料で貸出す。または多少の補助金を支給して何か空家を活用してもらう。また外見が見苦しいので、側面に絵を自由に描いてもらうそのペンキ代等は市が負担するか寄付を募る。この様に北大通やその周辺を活性化する
52	移住	70代	市役所運営毎日ご苦労様です。〇〇どなたかが出していそうなアイデアですが釧路は冷涼な夏が売り物なので空港のそばに地方から来て仕事ができる共用のサテライトオフィスビルを建てる事はできないでしょうか。私の東京に居る娘などに夏は必ず釧路で仕事する様に勧めてますが環境の問題もあると思います。お金の問題は当然あると思いますが地方創生を国も謳うのならば交付金を増やすのは当然の事だと思います。30年右肩下がり地方衰退まっしぐらは国の政策の間違いだと思えるのが正論だと思います。
53	空きビル対策/北大通	60代	北大通の空きビルをダンスホールにする。ディスコ・クラブとして、市民に踊ってもらう。音響設備、照明、ステージ、イス、遮蔽壁・防音壁 楽屋・更衣室・ロッカールームなどを設置する。ダンスの講師は雇用しない。独学で各自で学ぶ。児童(保護者同伴)・学生・青年・高齢者向けのフロア、時間帯を設ける。カメラを数台設置して、ネットに上げる。衣装会社、理美容師に、設けてもらう。入場料大人1時間1100円、大学生以下550円。●追伸。この生年月日の入力方法は、面倒臭いです。
54	中心市街地/若者の活躍	70代	・EGGの有効利用 今EGGはあまり利用されていません。企画を大学生に依頼して、演奏だけでなく 漫才やマジックショー 高専のロボットコンテストにだしている、ロボットの展示 等々、毎土日に行われれば、楽しくなると思います。
55	空きビル対策/北大通	60代	北大通の空きビルで、ファッションショーを開催する。市民(年齢・性別・国籍・人種・学生・宗教・障がい者など)が、素人モデルとして出演・披露する。個人参加は、自作の衣装で披露する。モデルの参加料500円、観客の入場料500円。観客が多ければショーを複数回開催する。防音壁、照明、音響設備、イス、楽屋、ロッカー、ネット配信用のカメラなどを設置する。差別・公序良俗に反しなければ、モデルの衣装、小物類は基本自由とする。恐竜・動物・怪獣・漫画アニメ、実在の人物など、仮装・コスプレの出演を認める。企業参加は、衣料品店や小物雑貨会社が、今年の流行、店内のイチオシの衣装を披露する。企業の参加料1万円? 来年度の制服の披露も可能とする。衣料品店、服飾学校、理美容師、化粧品会社、ミシン会社、生地会社、縫製会社などに協力を求める。モデルは、公募する。または友人知人に依頼する会場では、衣装・小物の販売も行う。運営は、主催者、スタッフらの創意工夫による発展が求められます。ここからデザイナーやモデルが、有名になれば幸いです。
56	その他	60代	全市民に、デジタル財産に対する遺言書を残すことを条例で制定する。老若男女、いつ死ぬか分からない世の中、亡き人のスマホ・パソコン等のアドレス・パスワードが分からずに、デジタル財産が相続できずに遺族は苦労しています。遺族は、スマホ会社に公開を求めても、できないようだ。ゆえに、条例で全市民に遺言書(パスワード・アドレス他)を書面にて残すように強制する。基本的には、任意です。銀行の貸金庫は信用できないので、市が遺言書保管所(約15万人分)を建設する。自宅内の保管は、生きている間に親兄弟親族が、覗き見る恐れがあります。明確な法律ができるまで、市条例で遺言書を保管する。遺言書は、公証人役場に依頼して、管理してもらう。
57	観光振興/スポーツ	60代	釧路は夏が短く冬が長い季候のため、パークゴルフを楽しむシーズンが限られてあります。パークゴルフは老若男女問わず楽しめるスポーツであり、市民の健康増進や交流の場として非常に有益です。しかし、現状では屋外でのプレーが主であり、冬季にはその楽しみが制限されてしまいます。そこで、屋内パークゴルフ練習場の設置を提案させていただきます。屋内練習場があれば、年間を通じてパークゴルフを楽しむことができます。市民の健康維持やスポーツ振興に大いに寄与するものと考えます。また、屋内施設は天候に左右されず、安定した利用が可能となります。具体的な提案内容としては、以下の点を考慮していただくと幸いです。 1. 市内中心部や交通の便が良い場所に設置することで、多くの市民や観光客が利用しやすくなります。 2. パークゴルフ専用の打ちっぱなし練習場や簡易コースを設置することで、初心者から上級者まで幅広く対応できます。また設置が困難であれば既存のゴルフ練習場の一部をパーク専用として代用するのもひとつの提案とさせていただきます。 3. 市や民間企業との協力により、運営費用の負担を軽減し、持続可能な運営を目指します。 最後にパークゴルフ場に止まらず、屋内のスピードスケート場の建設も早急に進めていただくことで、道東のスケート人口も増えていくのではないかと考えます。(釧路はスケート王国でした) 予算的にも厳しいものがあるかと思いますが、クラウドファンディングなど活用し、釧路をもう一度活性できたらと思い投稿させていただきました。

No.	区分	年代	アイデア
58	情報発信/観光振興/移住/ふるさと納税	50代	<p>釧路市外への釧路市魅力のPR関連での提案です。</p> <p>1, 釧路市の魅力発信について 魅力を域内外にPRする場合、単発な情報発信では、広報予算が潤沢な自治体が全国に多い中、情報が埋もれてしまい効果は見込めません。そこで、釧路市の魅力を発信する場合は、組織や団体の壁を超えた全体的な連携が必要です。具体的な提案は以下です。</p> <p>①広報等で釧路市への興味醸成 釧路市の魅力（特産品、海産物、観光地、自然、歴史・文化等）をPRする戦略を全体で検討し、連携可能な内容が有れば、キャッチフレーズやテーマを決めて、メディアやSNSや商品パッケージ、ふるさと納税返礼品等で連携して発信。また、釧路に訪れる観光客、ビジネス客にも同様のPRを行う。特に、釧路では当たり前過ぎてPRしていない「夏の涼しさ」「スギ花粉が無い」「海産物美味しい」「自然が豊か」等は改めてアピールして、釧路ファンを増やすことがまず重要です。</p> <p>②釧路ファン関係人口拡大する 上記で獲得したファンをリピーター化して、短期間な繋がりではなく長期間継続させ、長期滞在やワーケーション、その先にある移住や企業誘致繋げるには、別々の組織や戦略策定・事業実施でなく、一気通貫で実施する総合的な戦略が大事かと思えます。「釧路に旅行・ビジネスでの訪問やふるさと納税で釧路の魅力に触れ、釧路が大好きになり、長期滞在やふるさと納税リピーターに繋がり、最終的には移住したり、会社・団体を釧路に移す」様な連続した動きを促し、関係人口や移住・企業誘致を拡大するには、全体的に連動できる仕組みが必要です。これは、サテライトキャンパス誘致のヒントにもなると思えます。</p> <p>③観光大使、地域おこし協力隊・地域活性化企業人等の活用・連携 釧路市の素晴らしい素材も地元目線では日常のため、気が付かない事が多いと思えます。釧路市外へのPR事業は、域外と接点が多い観光大使等の域外目線が重要と考えます。特に観光大使については、もっと強力で釧路のPRで連携し、SNS上や本州メディア等で釧路の観光や名産品・ふるさと納税を発信頂ければ、と感じます。ふるさと納税の釧路市のサイトにも登場いただき、ご本人と返礼品の両方のPRに繋げてはいかがでしょうか。</p> <p>④広域連携・情報発信 阿寒町、音別町、釧路市街の情報発信が散発になっていると感じます。せっかく素材が豊富にある3地区なのですが、全国的なイメージは同じ自治体の印象はありません。観光としての一例ですが、釧路空港や釧路駅を起点として、釧路市街の観光や食事して1泊。翌日は阿寒町で食事・買物して阿寒湖温泉宿泊、その後オホーツク方面へ、又は市街から音別町立ち寄りして十勝方面へ等、釧路市を起点として道東周辺観光も盛り上げると同時に、釧路市にもしっかりお金を落としてもらう観光ルートを設定し、PRしてはいかがでしょうか。またリピーター対策として、釧路市内で購入したお土産等はふるさと納税でも取り扱いがある事や釧路市内にはまだまだ良い観光地がある事も、せっかく来られた釧路市の訪問者にポスターやチラシで宣伝できる仕組みも必要です。</p> <p>2, 釧路市の素材・コンテンツ開発開発</p> <p>① 温暖化を利用した産品開発 温暖化の影響で、水産物や農産物の北限が上がってきています。過去獲れなかったぶり等の開発が始まっていますが、今後平均気温が上がっていくと、お米の生育も可能になっていくと思われれます。直ぐには市場向け製品は難しいと思えますが、このまま温暖化が続けば、道南・道央地区の様に将来的に優良米生産の可能性は高いです。また、水田や稲作を普段見ていない子供たちへの食文化教育や、本州の弥生時代と北海道の縄文時代の違い等、北海道独自の歴史教育にもつながると思えます。</p> <p>② 「鉄北センター」を生かしたの釧路市のPR YouTube等で「廃墟」イメージの「鉄北センター」については、現在あまり良い意味でない事で、特に釧路市外に一定の認知度があります。昭和を感じさせるレトロな風情は、他の地区にない貴重なディープスポットと感じます。可能な範囲で整備し、過去の歴史や写真でアピールし、現在営業しているお店とも連携しセンター内の案内人や共通飲食券も設定してはどうか。国内客だけでなく訪日客にも人気が出ると思う。以上、ご提案です。</p> <p>釧路市は、周辺の小規模自治体に比べ、人口や経済規模の大きいため、様々な部分で全体的な連携が不足していると感じます。そのため、釧路市内に入ってくる有意義な情報も、個人や各事業者・業界団体に分散しているため、全体で生かされていないと思えます。逆に市外への情報発信も、連携不足で単発に終わっており、「夏涼しい」「スギ花粉が無い」「海産物が美味しい」等、全国的に誇れる魅力を知らない方々は世界中に多数存在します。また、世界規模で変化のスピードが速く、且つ釧路市も影響を受ける中、有意義な情報の収集と分析、そのデータを釧路市全体で生かすのは重要です。釧路市内向けの福祉や教育等については、きめ細かい組織や事業での対応が大事かと思えます。一方、釧路市外に向けた情報収集や魅力発信においては、個々の事業に莫大な予算を投入している他自治体に対抗するために、逆に釧路市内の予算・要員や意見・情報を出来るだけ集約し、全く新しいことでなく今可能性のある素材を生かすしかないと感じます。以上、よろしくお願ひします。</p>
59	空きビル対策/北大通	60代	<p>北大通の空きビルにて、楽器・演奏場として貸し出す。楽器バンドをしたい人は、大勢いると思う。住宅街だと騒音問題で、演奏できる場所がありません。室内を防音壁などで区切って、ギター・ピアノ・サックス・ドラム・太鼓・琴・三味線などを有料で貸し出して練習してもらう。口をつける笛やサックスなどの楽器の貸し出しは、難しいと思われれます。自分の楽器の持参は、可能とする。楽器は、市民からの寄付、中古品店から買い取る。楽器会社に、運営を委託する。楽器の販売も認める。ライブ会場を運営し、素人に歌や演奏や作詞作曲を披露させて収益を得る。将来、ここから歌手・バンド・作詞作曲家として活躍する人が出て来るかもしれません。</p>

No.	区分	年代	アイデア
60	観光振興	60代	根釧原野内に、映画ドラマCMなどのオープンセットを建築し、撮影現場とする。広域組合などが、管理運営する。広大な土地と冷涼な気候を武器に、製作会社に売り込みをはかる。魚介類・動植物などに、悪影響の少ない場所を選定する。ダイナマイトが使える場所にするそんな場所などあるだろうか。自衛隊・警察・消防署などの訓練にも、活用する。
61	中心市街地・北大通	30代	市民への意見募集ありがとうございます。私はまだ釧路市に住み始めて2年目ですが、常日頃から、市にはもっと企業誘致に力を入れてほしいと思っています。特に、駅前（北大通）に娯楽施設や総合ショッピング施設がないのは致命的だと思います。せっかく夕日や美味しい食べ物を売りにして観光客を呼んでいて、実際駅前から幣舞橋にかけて旅行者が滞在できるホテルも多いのに、ホテル近辺での娯楽がほとんどないため、夕方まで何もすることがなく飽きてしまう状態になっているように思います。実際、私も以前旅行で釧路に来た際は、夜に末広で飲み食いする他にしたいことがなく、時間のつぶし方に悩みました。昔遊びに来た時には、デパートやゲームセンターが街中であって楽しめたのを覚えているため、尚更現状が寂しく感じてしまいます。私は現状でも釧路に住むことを気に入っていますが、より豊かで活気溢れる街になって欲しいと思っています。どうかご検討のほどよろしく願いいたします。
62	防災	60代	公園内に、仮設住宅を設置する。災害が起きると仮設住宅が、公園などに設置されます。釧路市は、公園内に1基の仮設住宅を設置して、市民に1泊2日の避難体験をしてもらう。ぶっつけ本番は、キツイと思います。道路が寸断されたら、資材も人材も運べず、仮設住宅は設置できません。駐車場、トイレのある公園内に設置する。好評であれば、多数の公園内に設置する。イヌ猫トリなどのペット小屋も、設置する。アンケートを取り、問題があれば、そのつど改善する。室内は喫煙禁止。宿泊後、清掃し、ゴミは持ち帰る。マナー遵守。管理清掃などは、町内会が実施する。1泊1家族、1100円？ 要予約。
63	教育	30代	釧路市における「地方創生2.0」を推進するため、「釧路地域ふるさと映画『鶴の里物語』学校上映プロジェクト」を提案いたします。 この提案は、国の「地方創生2.0の基本構想の5本柱」全てに貢献するもので市民目線で「地元の人が地元の良さを知る」ことが最大の地域創生であるということ ことを基盤に、釧路の未来を切り拓くものと考えます。 【提案内容】 既に完成・上映実績のある、釧路・鶴居のふるさと映画「鶴の里物語」（上映時間40分）を小中高、大学で「総合的な学習の時間」や、「ふるさとキャリア教育」、「地域研究」に教材として導入・上映をするというご提案です。本作は、釧路地域（釧路・鶴居）の雇用や物産等をテーマにした作品で ・イオンシネマでの上映（令和7年6月13日～） ・釧路市中央図書館での郷土資料としての所蔵（令和7年4月15日～） ・Amazon Prime 及び Rakuten TVでの配信 が決定しております。 これらと学校での教材導入の施策を連携することで市民の郷土愛の育成、地域経済の活性化、東京圏からの移住促進を一体的かつ効率的に推進できると考えます。また、既に ・認定こども園よしのでの上映会（動員220名 満足度89.4%）の実施 ・ふるさと納税活用を見越した「鶴の里物語」釧路地域ポストカードの同時販売（上記上映会販売時には完売） も行っており、実現性の高いアイディアとしてご提案いたします。 ※なお、鶴間市長、岡部教育長、釧路新聞社 星社長、しのだ奈保子 衆議院議員、伊東しょうご 道議会議員は上映会へご出席いただき釧路副市長及び鶴居村村長への表敬訪問も行ったほか、釧路新聞社及び北海道新聞社では「鶴の里物語」に関する数々の記事をご掲載頂いております。 【取り組みの背景と実績】 「鶴の里物語」は、釧路・鶴居の街並み・人々・雇用をテーマにした40分の短編映画で、すでに完成し、上映実績があります。令和7年2月9日に「認定こども園よしの」（大楽毛）にて開催した上映会では220名が来場し、アンケートで93.8%が「釧路・鶴居の魅力を再発見できた」、89.4%が「満足」と回答しました その他、「杉本内科医院アネックスホールみその」（中園町）や東京で行われたイベント「ふるさと映画祭」（秋葉原・UDXシアター）など、複数の上映実績がございます。また、令和7年4月15日には「釧路市中央図書館」での郷土資料としての所蔵が決定済みでありこれは本作が単なるエンターテインメントにとどまらず釧路の歴史的・文化的価値を持つことを示しています。 【学校・大学教育への導入と授業案】（安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生） 「地元の人が地元の良さを知る」ことが地域創生の基盤と考え、「鶴の里物語」のDVDを教材として小中高および大学に導入し「総合的な学習の時間」や「ふるさとキャリア教育」、「地域研究」の教材として活用します。以下が具体案です ・目的 郷土愛を育み、釧路に住み続ける気持ちを強くする。地域課題への探求心を育て、新しい経済の担い手を育成する。 ・導入方法 既存の映画DVDを各校で使用し、プロジェクターやテレビで視聴。 (次ページに続く)

No.	区分	年代	アイデア
63	教育	30代	<p>(続き)</p> <ul style="list-style-type: none"> 『総合的な学習の時間』『ふるさとキャリア教育』『地域研究』授業案 <p>小中学校：上映後、小学生は「釧路・鶴居の魅力」、中学生は「魅力と課題」をノートに記録・発表。 高校：「地域での将来像」をテーマに、映画から職業観を討論。 大学：「釧路の地域創生策」をレポート化。</p> <ul style="list-style-type: none"> モデル校展開 現在、美原小学校、美原中学校、湖陵高校、釧路公立大学（4/18 訪問で調整中）との協議を準備中。市の予算支出0円で4校での試験導入を実施し、その後全市内の学校および高等教育機関へ拡大させる。モデル校では生徒に、例えば「釧路の魅力を再発見出来る作品でしたか」、「将来、釧路で働くことがイメージできましたか」、「釧路に住みたいと思いましたが」、「釧路の課題解決に興味を持ってましたか」といった設問のアンケート調査（とてもそう思う～全くそう思わないの5段階で回答、「とてもそう思う=5点」とし、4点以上を好成績と定義）を行い、定量的に成果の評価ができるようにする。 その際、例えば仮に「人口流出抑制が最優先課題」とするのであれば、「釧路に住みたいと思いましたが」という設問を最優先、「課題解決に興味」を2位、「魅力を再発見」「働くことのイメージ」を3位・4位とするなど、設問に優先順位を付けた上で、80%以上（過去の上映会満足度89.4%を参考、4点以上の回答者割合）の好成績であれば継続を検討するなど、基準を設け進めていく。 ※なお、本映画がきっかけで、釧路在住の高校生1名が、東京への移住ではなく、市内企業（株式会社オープニングアクト 釧路支部）での就労を選択（令和7年3月～ 就労開始済み）した実績がすでにごさいます。（就労者本人へのインタビューより） 【地域経済と観光への波及効果】（付加価値創出型の新しい地方経済の創生） 映画を活用した経済活性化策として以下を提案します。 ・イオンシネマ上映：令和7年6月13日から2週間程度の上映が決定済み。 市の予算支出0円で、釧路を拠点とするアーティスト「HEATVOICE」や本作の主演である、合計フォロワー数1,000万人のインフルエンサー「石川翔鈴」「滝本光」が登場する舞台挨拶（出演許諾済み）と物産展を開催し、市民や観光客に釧路の魅力を伝え、経済効果と観光誘致を最大化。登場するインフルエンサーの拡散力を生かし、チケットの一般発売日や、舞台挨拶の前日、舞台挨拶後のSNSでの宣伝も要請し（3投稿で10万リーチ目標フォロワー数の1%を想定）、さらなる集客を図る。 その際、例えば「#釧路を映画で応援」のようなハッシュタグの付与を依頼し、トレンド入りをさせるといった戦略も検討する。さらに、トレンド入りした場合はトレンド入り後1週間以内にプレゼントキャンペーンを「ハッシュタグ投稿から抽選」という条件で追加で実施し、さらなる周知と、特産品のPRを行う施策を検討。 ※プレゼントキャンペーンの具体的な例 釧路のサンマ&釧路の夕日ポストカードセット10名様プレゼントキャンペーン。1,000リポストごとに当選人数を10人追加、最大100人まで。財源はチケット収入で賄う。1人500円×200人=10万円で100人分賄うことが可能。（1人あたり1,000円相当のプレゼントとする）なお、前売り券予約状況に基づき、現時点で既に200枚予約済みなので、実現可能と思われる。 ・ふるさと納税の返礼品化：映画関連ポストカード（プロダクトは既に制作済み、認定こども園よしのでの上映会で完売実績あり）を返礼品に追加。同じく「ふるさと映画」シリーズである、熊本県宇土市のふるさと映画「ママのふるさと」では特産品の海苔にフォーカスし、公開前後でふるさと納税額が約2億円から約10億円に5倍増（前年比）した実績あり。釧路でも「鶴の里物語」でふるさと納税や雇用の促進を図り、年間1億円の増収を目指す。 ・観光振興：ロケ地をまとめたパンフレットを釧路市観光案内所などで配布し、観光客の関心を高める。 【東京一極集中への対応】（デジタル・新技術の徹底活用・東京一極集中のリスクに対応した人や企業の地方分散） 東京圏からの移住・関心を喚起するため、以下を実施します。 ・Amazon Prime及びRakuten TVでの配信：映画をデジタル配信し、釧路の魅力を全国へ発信。東京圏の住民を視聴者層に加え、釧路市への移住や観光への関心を喚起させる。 【全市民への展開と国民的機運の向上】（「産官学金労言」の連携など、国民的な機運の向上） ・教育機関のフル活用：小中高・大学での導入に加え、釧路市中央図書館での所蔵を活用し、市民が自由に視聴可能な環境を整備。次世代の地域貢献意識を高め、市民全体のやる気を引き出す。 【実現可能性と具体性】 ・予算：初年度の市の予算支出は不要。DVD配布は既存資源を活用し、イオンシネマイベントも市の予算支出ゼロ、モデル校導入も市の予算支出0円で実施。2年目以降の活動継続は、ふるさと納税の収益を活用する可能性を検討。 ・スケジュール：令和7年6月13日イオンシネマ上映開始（決定済み）、並行して、令和7年9月1日を目標にモデル校4校で実施、令和8年度全市展開。 ・協力体制：釧路市教育委員会、イオンシネマ、学校関係者など地域の方々と連携。 <p>(次ページに続く)</p>

No.	区分	年代	アイデア
63	教育	30代	<p>(続き) 【地域創生への貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短期効果: 学校での教材利用による、子どもから大学生までの郷土愛育成、イオンシネマ上映とふるさと納税による経済活性化。 ・長期効果: 人口流出抑制、東京圏からの移住促進、地域経済の持続的成長。 <p>【5本柱へのわかりやすい貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生: 学校で郷土愛を育て、釧路に住み続ける気持ちや、東京圏に住む釧路出身者が、釧路に戻って働きたくなる気持ちを強くする。 ・東京一極集中のリスクに対応した人や企業の地方分散: Amazon PrimeやRakuten TV配信で全国に釧路の魅力を伝え、移住やUターン、観光を促す。 ・付加価値創出型の新しい地方経済の創生: 観光やふるさと納税で地域にお金を呼び込む。 ・デジタル・新技術の徹底活用: Amazon PrimeやRakuten TV配信で広く発信する。 ・「産官学金労言」の連携など、国民的な機運の向上: 市民や学校が一体になって地域を良くする機運を高める。 <p>【結論】</p> <p>「鶴の里物語」の学校での教材利用をはじめとする、地域・教育・経済への活用は、釧路の全世代がふるさとの魅力を再発見し、地域創生を進める基盤となります。イオンシネマ上映(6月13日~2週間、HEATVOICE出演)、釧路市中央図書館所蔵の決定(歴史的・文化的価値の証明)、Amazon PrimeやRakuten TVでの配信、モデル校4校との協議(予算0円)、「鶴の里物語」ポストカードの完売実績により、実現性は極めて高く、追加費用なしで「地方創生2.0」の5本柱全てに貢献します。釧路の未来を共創していくべく、ぜひ採用をご検討ください。</p>
64	防災	60代	<p>公園内に仮設住宅を建設する。災害に遭った時、仮設住宅が公園などに設置されます。釧路市は、公園内に1基の仮設住宅を設置し、市民に1泊2日で宿泊体験をしてもらう。日中は、見学とする。駐車場、トイレ、水飲み場のある公園内に設置する。テレビ・洗濯機・冷蔵庫・チン・風呂なし。電気ガス水道なし。灯油ストーブ(灯油は持参)あり。布団あり。喫煙禁止、破壊行為禁止、落書き禁止、ゴミは持ち帰る。マナー厳守。1泊1家族、1100円? 要予約。学ぶ違反が目立つ場合は、仮設住宅は撤去する。好評であれば、多数の公園に仮設住宅を設置する。災害時は、道路が寸断され、仮設住宅の資材や仮設トイレなどを運ぶことができません。仮設テント、仮設ペット小屋なども設置する。利用者の要望により、仮設住宅は進化させる。</p>
65	防災	60代	<p>市営住宅の空き家を避難所として活用する。市営の公営住宅は、老朽化にともない空き家が目立ちます。武佐団地の高台は、空き家だらけです解体更地にする予定がいまだに、進まないようだ。地震津波豪雨土砂崩れなどで被災した人のために公営住宅の空き家に入居してもらいましょう来たるべき日に備え、空き室を多少、改裝修繕する。将来、居住者全世帯の引っ越しによって、一棟が完全空き家になった時、避難所の指定を取り消します。</p>
66	防災/空きビル対策	60代	<p>駅前、北大通周辺の空きビルを避難所に指定する。この界隈は、津波が来たら、素直に逃げ込む場所がありません。高いビルは、ホテルが多い逃げ込まれて来ても、ホテル側は後日、迷惑をこうむるでしょう。市内の空きビルは、意外と多いです。釧路市で、格安で借り切り避難所として改築活用する。</p> <p>災害時以外は、簡易ホテルとして収益を上げる。1泊1100円? 電気ガス水道光熱費は別料金とする。ウィークリーマンション、マンズリーマンションとする。建築土木の労働者の宿泊施設にする。釧路市への移住者向けに、活用する。共同の洗濯機・流し台・冷蔵庫・チン・トイレとする。喫煙禁止。光熱費は、負担してもらう。市職員が、職務上宿泊する時は、無料とする。冬場、バス・電車が停まった時は、帰宅困難者として、無料にする。豪勢な泊まりを求める人は、ホテルに泊まってもらう。災害時を基本とするので、ベッドはなし。シュラフを貸し出す。大広間では、雑魚寝をしてもらう。泥酔者は、宿泊拒否とする。他のホテルの業務を妨害しない範囲で、営業する。基本、ゴミ出し、清掃はセルフサービスとする。マナーを守れない人は、災害時でも入室させない。金銭的に余裕のある人は、月33000円で暮らす人が出るかもしれない。行き場のない独居老人、保証人のいない市民、生活保護者の住居として認める。災害時は、相部屋とする。感染症が出た場合、この空きビルを準病院として、活用する。老朽化した!空きビルは、津波に弱いかもしれない。不動産屋に、委託管理運営してもらう。フロント・管理人・清掃人を置かないといけません。</p>

No.	区分	年代	アイデア
67	教育	70代	<p>主に「目指すべきまちづくり」の実現に向けた3つの「重点戦略」の②地域経済を担う人材育成について、言及する。内容は中等教育(市立北陽高校)と高等教育(釧路短期大学、釧路公立大学)の接続を強化し国際感覚と異文化理解を持った地域経済をけん引できる人材育成を提案する。釧路根室管内の産業構造は、酪農、農業、水産林業の一次産業とそれの関連する食品加工業、原材料供給型産業、インフラのための建設業からなっている。昨今これらの産業はいずれも人手不足である。その要因が仕事のイメージや男女の就労環境の差などさまざまであるが、喫緊の解決すべき課題である。そのため外国人労働者の雇用に頼らざるを得ないのが現状であろう。既に外国人技能実習制度による外国人雇用が多数見受けられる。このように異文化の流入を如何にして地域活性化につながるよう検討・努力することは今後の地域の発展のために大きな意味を持つ。</p> <p>外国人労働者の雇用は、国策により労働者確保や雇用手続き、期間の延長などが整備され、食糧基地として位置付けがますます強くなる釧路・根室管内十勝管内の道東地域にとって有用である。しかし、受け皿となる地元企業での就労環境や待遇が決して恵まれているとはいえない。特に生活習慣や宗教などを理解し居心地の良い生活環境の提供を含めた取り組みが少ないように思える。このことから異文化を理解し日常的に寄り添うことができる就労環境の提供の意味は大きい。</p> <p>課題解決のために、市内の高校、短期大学および公立大学における教育の在り方を再編する。何よりも若者の定着化を目指すならば教育方法の改善が必要である。例えば、釧路公立大学に釧路短期大学を合併し、経営学部だけではなく福祉あるいは人間環境学部を増設する。</p> <p>また、釧路公立大学の付属高校として市立北陽高校を位置づける。北陽高校は進学指導主体の教育を見直し、異文化理解と交流に特化したコースを設ける。卒業後は外国人労働者を同じ職場環境での就労を目指す。そのためにアジア圏アフリカ圏の言語習得と留学での体験学習を行い、異文化に理解を持ち外国人労働者が安心して地域で就労できるよう支援できる人材の育成を行う。同時にこれらの国々からの留学生を受け入れや日本語教育講座も実施するなど、外国人労働者のニーズを高校教育に取り込んでいく。</p> <p>また、公立大学は経済学部の利点を生かし、国際理解による経営経済戦略を生み出せる能力を持った高度国際経営人材の育成を目指す。高校から大学の連結により国際感覚を有する優秀な人材の育成が可能となり、これらの人材は食糧基地である道東地区から国際的な情報発信の場で活躍できるようにする。また、高校教育の無償化はチャンスである。これを機会に市立北陽高校の授業料を見直し、生徒の負担軽減もさることながら、教員職員の待遇を見直し有用な人材が確保できるようにしてほしい。</p> <p>工業や商業の専門分野での地域就労人材を育成する高校はあるが、異文化を理解し国際感覚を持った人材の地元定着を目的とする教育機関はない。教育目的や将来のイメージが明確であることは、高校や大学の進路選択の強い要素となりえる。いずれ、対象となる高校、大学ともに少子化に伴う学生の確保に苦勞することが予想されるが、将来が明確で社会貢献に尽くせる職業感を保証することは若者にとって魅力があり特色のある教育機関へと変わることとなり、学生確保も容易になるであろう。加えて地域に必要な新たな人材育成を行うことは今後の地域の発展に寄与するものと考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異文化理解の能力を持った人材の育成 ・そのための公立大学・短期大学の合併と北陽高校の附属校化 ・外国人労働者の受け入れと生活環境の整備への支援 <p>を提案する。</p>
68	その他	60代	<p>年に一度(夏場?)、選管主催(または道新・釧路新聞)で、現職の国会議員を落とす投票を実施する。釧路市民に、早期に辞めさせたいと思う国会議員に対し、投票してもらう。落選権です。中学生の投票も認める。マイナンバーカード所持者に限る。市役所内に1ヶ月間開催する。人材不足のため、投票は、パソコンで実施する。投票しても、法的根拠がないため、現実には落選しない。結果は、新聞社・広報くしろにて公表する。この公表により、全国の自治体に広がり、法律が制定され、現実には国会議員を落選させることができれば、幸いです。</p>
69	産業	60代	<p>釧路でシカ牧場を運営する。議会の力で、働きかけて下さい。シカを捕獲して、囲いのある広大な牧場で育てる。牧場ができて、クマに狙われるかもしれない。冬場は宿舎に入れ、夏場からエサを確保する。屠殺場を併設する。奈良公園のように観光用として、シカを活用する。入場料大人500円? シカ肉、ジャーキー、毛皮、ツノなどを生産・販売する。売り物にならない内臓・骨などは、堆肥にする。動物園のエサにする。</p>
70	生活環境	60代	<p>側溝内を清掃して下さい。落ち葉がたまっています。金網を二枚買って、フタにしています。釧路市の業者が、側溝内を清掃しているところをいまだかつて、見たことがありません。バキュームで、届くところまで落ち葉やゴミや土砂などを吸い取ってほしいものです。場所により、側溝のまわりにヒビ亀裂が入っています。時に、側溝が車道より高くなっているのを見かけます。排水できません。側溝には、専用の金網を作って、フタ(落ち葉防止)をしてほしいものです。</p>

No.	区分	年代	アイデア
71	コミュニケーション/観光振興/その他	40代	<p>募集期間が短かったので調べる時間が足りなかったのですが…</p> <p>地方創生について考える中で、「鎌倉資本主義」と「コミュニティナース」というキーワードに出会いました。鎌倉資本主義は究極の官民連携ですが調べきれませんでした。コミュニティナースは住民共助構造を構築するプロです。出雲で始めた方がいるのですが、道内でも導入している自治体もあります。まずは、住んでいる人が生きやすい町は外から見ても魅力的です。釧路の重要産業の一つは、観光だとおもいますが、市内の魅力がないので、釧路で寝泊まりだけして、周辺地域に行ってしまう、釧路で行動しない状態になってるように見受けられます。30年前に釧路にやってきて、だんだん人口も減り、廃れていく様子を丁度実感的にみてきました。でも釧路にはおもしろい場所、人などたくさんの資源があると思っています。釧路に住んでいる人がこの町に魅力を感じて、語れること、これが、地方創生の第一歩だと思います。</p> <p>大したアイデアが提案できずすみません。</p>
72	子育て/教育/若者の活躍/情報発信	40代	<p>今後のまちづくりやにぎわい作りに、計画段階から今後を担う児童に参加させてほしい。そうすることで、地元愛も生まれ、自分達がこのまちを盛り上げるんだという協働への精神も生まれると感じる。</p> <p>例えば、『釧路みらいのまちづくり』と題して学校からの課題として夏休みの期間、幼児から高校生までに、年齢に合わせて釧路がこうだったらいいというアイデアを絵や作文や、プレゼンなどしてもらい、コンテストを行う。中には採用して実際に行う過程までの間にも、採用された子供が関わっていくなどすると、若い子の新しい考えも取り入れられ、かつ郷土愛も生まれると考える。</p> <p>東京からUターンへの支援はあるが、ほかの都市からになるとないので、もっと他の地域からでも帰ってきた場合は、おかえり支援などしてほしいと感じた。また、せっかく大学があっても、戻ってしまうことが多いので、どの企業に勤めても釧路に就職した時点で家賃補助や手当などがつく、残ってくれやすいと感じる。</p> <p>学校から児童館や習い事などのオンデマンド交通が利用できるようにすることで、本来のファミサポの機能が使えるようになるのではないかと、(現在ファミサポ利用の大半が送迎目的と伺ったので)</p> <p>市でのホームページなどどんどん見やすくなっていると感じるが、民間の情報まで見る事ができるようになると大変助かります。色々な所で、それぞれいい活動をしている、情報を得にくかったり、横の繋がり、行政との繋がりが薄いという意見が私以外にも多数ありました。</p>
73	中心市街地	未回答	<p>『近代型キャンプ都市』という名前を全国に名前を売り出す政策はどうですか。</p> <p>市内中心部にキャンピングカーが全国から集まるような巨大な駐車場ができれば面白いと思います。電源も使えて快適な。もちろん有料です。隣接して、綺麗なトイレ、浴場施設・炊事場・バーベキューハウス・モルックや卓球など、気軽に遊べる室内型の施設を作って市民にも開放したら、雨の日でも冬でも市民や若者が駅周辺に集まってくるのでは？あと、ドッグランやペットと散歩した後にちょっと足を洗える場所を作ったら、ペット連れの人や市民も、少しはマチナカを散歩しようと思うのかも。(ペット飼ったことないですが、、、ペット連れのキャンピングカーユーザーが多いですね) キャンピングカーはわりと季節を問わないですし、ホテル不足の解消にも貢献します。</p> <p>企業誘致ではなく観光的誘引ではありますが、全国から集まった人々が快適だったと思ってきて、釧路に住んでる人たち羨ましいなと思ってもらえたら、最高ですね。上に高くではなく横に広い使い方をするのも、都市との差別化として進めて欲しいです。(災害時の避難場所としての高いビルは必須ですが)</p> <p>涼しさはもちろん、大自然の景観が車で走れば30分で見に行くことができるのが釧路の凄いとこだとよく都会から来た人に言われます。その強みを活かして、駅周辺やこれからの街づくり大改革を期待します。</p>
74	教育/スポーツ	30代	<p>部活動の地域移行を促し、住民と生徒のつながりを生むこと、最強の選手を地域で育成すること、住民の副業としての機能も生めるようにしてほしい。世界でも通じる英語教育を独自に行う。釧路出身者が世界で活躍できることで、釧路で教育を受けたいと思わせる仕組みづくりをしてほしい。また、釧路市民が英語を話せるようになり、海外からの移住者や旅行者が来るようにしてほしい。金融教育の充実を図ってほしい</p>

No.	区分	年代	アイデア
75	公共交通/観光振興	20代	<p>提案 鉄道を活用した観光誘客 釧路湿原ノロッコ号の運行本数の増便と魅力ある車両への更新</p> <p>1. 提案内容 釧路湿原ノロッコ号の増便 現在4月から10月まで140日運行・1日2往復 → 1日3往復に増便し運行本数を倍に。 魅力ある新型観光列車への更新 引退予定のノロッコ号に代わる、新しい観光列車を導入。</p> <p>2. 現状 ノロッコ号が走っていない期間は釧網本線の列車本数が極端に減り、観光利用としてはほぼ使えません。また、釧路を代表する観光資源である釧路湿原が見渡せる細岡展望台にアクセスする場合、ノロッコ号が廃止されるとアクセス手段が無くなり、観光業においても大きな影響を及ぼす可能性があります。</p> <p>3. 課題 現在運行している「釧路湿原ノロッコ号」は2026年度を最後に運行することが決まり、これに伴い、2026年度以降は既存の普通列車(キハ54)を改造した観光列車を導入する検討が進められています。しかしながら、以下の課題があります。 車内サービスの低下:現行のノロッコ号として、売店の撤去、窓が小さくなり観光列車としての特色が薄れサービスが低下する可能性があります。 車両の老朽化:後継車両に使用を検討している車両も既に40年以上経過しており、観光列車に改造しても数年以内に引退する可能性が高い。 その後の存続についても決まっていない。 収益性:観光列車は収益性が低い上に、運行コストも非常に高いため運行すればするほど赤字が拡大。また新しい車両に更新するとしても、近年の物価上昇などにより車両の改造費、製作費が上昇しており、観光列車の収益だけでは車両費の回収が困難。</p> <p>4. 解決策・今後の展望 釧路湿原ノロッコ号は毎年約7万人が利用する観光列車であり、駅周辺の商業施設や店舗の経済効果に加え、地域の魅力を国内外に発信する大きな役割も持ち合わせており、沿線自治体にとっては経済的恩恵をもたらしています。しかし、一方で、運行を担うJR北海道にとっては、維持にかかるコストや収益性の面から見てメリットが得られておらず、沿線自治体とJRの間で利害の相違が生じていることが課題です。沿線自治体首長などがJRに対し運行継続を求める動きが出ておりますが、JRに要望書を提出するだけではなく沿線自治体に加え、国や北海道から地域創生などの制度を活用して財源を確保し、新たな観光列車を作るべきだと思います。</p> <p>まとめ 今後予定されている釧路駅の高架化とプラスし、既存の鉄道を活用して観光客を誘致することも駅前や周辺地域の経済活性化にも大きく寄与すると考えます。街の玄関口であり、顔である釧路駅が整備されることで、地域のイメージ向上にもつながり「住んでよし、訪れてよし」魅力あるまちづくりが進むと思います。さらに、釧路駅を中心とした道東の観光拠点、交通の利便性向上により地域住民の暮らしやすさも高まり、観光と日常の両面から持続可能な地域発展につながることを期待しています。</p>
76	観光振興/教育	40代	<p>観光に関する施策がたくさんあることを知りました。それに伴い市民も一緒に楽しめることが街を知り好きになることに繋がると思います。昨年、図書館にてのワークショップがありました。釧路の街でのアートワークショップを体験できたり、釧路の発信にアートの魅力を使えるといいと思います。また、釧路市に若い人が住みたいと思える街であるに、戻ってきてくれる街であるには、子どもたちの学習環境を子どもの側から見直し、子どもの声をすくい上げること、子どもたちを見守り緩やかな育ちを伴走する、そのような考え方で釧路市の学校が子どもにとって居たいと思える場であるよう、現状の整理をし道筋をつけてほしい。 https://www.town.abira.lg.jp/chiikishinko/ijupr/edu https://www.play-on-tokachi.net/</p>
77	教育	60代	<p>釧路市に、リアルキッズニアを運営する。小学生・中学生に、市内の会社などで働いてもらう。放課後・土日祝日、夏休み冬休みに就労体験をしてもらう。現実の世界で、仕事を学んでもらう。スタッフの一人は、その子供に付きっきりになります。見るだけの補助的な体験なので、報酬はなし。1000円相当の弁当、ジュース、おやつぐらいは提供する。往復のバス代、電車代、タクシー代を支払う。または、スタッフが送迎する。最初は、駅前、北大通りの企業に協力・参加店を募る。好評であれば、市内全域に拡げる。JR、バス会社、銀行・証券会社・保険会社・不動産屋、ホテル、物販店・飲食店、葬儀屋、コンビニ・スーパー、理美容室、市役所・警察署・消防署・郵便局・図書館、道新・釧新、その他に協力してもらう。一番の目的は、駅前・北大通りに人を集めることにあります。この生年月日の入力は、イライラします。</p>

No.	区分	年代	アイデア
78	産業	60代	<p>釧路に、第二の富岳、巨大サーバーを誘致建設運営する。熱を発するスーパーコンピューターの場所は、冷涼な気候の釧路市が合っていると 思う。設置場所は、津波の影響のない高台、桜ヶ丘、興津、弥生町の小学校跡地、白樺台の古い公営団地を解体更地にして設置する。電気は、 高山の焼却場で発電する、興津の火力発電所、ソーラーパネルを設置してまかなう。敷地内には、氷室を建設する。冬場の雪をここに集め、夏場 の冷房に活用する。釧路市・大学・企業が協力して、運営する。建設費は、10億円以上するだろうか。</p>
79	教育	60代	<p>公立大学に秋入学を実施する。冬場の入試を見聞すると、受験生が切なくなります。大雪で電車バスが、止まる。ホテル代はも高い、外国人 旅行者で満杯となる。合格しても、家探し、引っ越しも大変だ。せめて釧路市の公立大学だけでも、秋入学・夏卒業を実施できないものだろうか または、春入学と秋入学の2部制にする。教授講師は、大変であろう。春受験で落第した人が、秋入学で釧路市に来るかもしれません。秋入学 であれば、外国人の留学生を受け入れやすくなります。秋入学となれば、受験は6月頃だろうか。秋入学となれば、不動産屋も引っ越し業者も 楽であろう。卒業後は、中途入社になるでしょう。決めるのは、議会ではなく大学側であろう。</p>
80	インフラ	60代	<p>武佐駅～別保トライアル店間に、吊り橋または小橋を建設する。歩行者・原付バイク・チャリは、通れる設計にする。自動車は、通さない。 土地所有者探し、その許可、買収、その他法的手続きは大変だと思う。橋が完成しても、武佐の住人が、買い物へ行くだけで釧路町の住人は 武佐へ来る人ことは皆無であろう。橋の管理は、誰がするのか。雪が積もった橋は、誰が除雪するのだろうか。建設には、10億円以上すると 思う。湿地帯につき、貴重生物が棲息していたら、建設は中止にする。利用者は、いないと思う。</p>
81	公共交通/若者の活躍	10代	<p>釧路地域では、近年の人口減少や少子高齢化、さらにはバス運転手不足などの影響により、公共交通機関を取り巻く環境が厳しさを増して います。特に通勤・通学時間帯における路線バスの本数減少により、車内の混雑が慢性化しているほか、平日の夜間には運行されているバスが 休日になると運休となるケースが多く見られます。これにより、学生の部活動や課外活動、市民の買い物や飲食、地域イベント等で釧路市中心部 に滞在した場合でも、帰宅手段が限られてしまい、活動時間や行動範囲が制限されているのが現状です。 また今後、免許を返納する高齢者がますます増加することや、経済的理由や生活スタイルの変化により免許を取得しない、あるいは車を所有 しない若者も一定数存在することから、公共交通機関の重要性はさらに高まると考えられます。 しかし現状では、バス料金が高額であることから、経済的に余裕の少ない若者がバスの利用をためらうケースも見受けられます。高齢者向け には「おでかけパス70」や「シルバー定期」「グリーン定期」など料金補助制度が充実していますが、若年層への支援は十分とはいえません。 そこで、若者の移動支援策として、高齢者向けの「おでかけパス」のような割引制度を若者向けにも創設することが求められます。例えば 「ヤングパス（仮称）」のような低料金定期券やフリーパスを導入し、学生や若年層が公共交通を積極的に利用しやすい環境を整備することは 若者の地域定着や経済活動促進につながる重要な施策となります。このように、通勤・通学時間帯の輸送力強化、休日夜間の交通空白時間帯の 解消に加え、料金面での若者支援策を組み合わせることで、公共交通機関の利便性向上と利用促進を図り、地方創生に寄与する施策を展開して いくことが重要であると考えます。https://maebashimobility.jp/3673</p>

No.	区分	年代	アイデア
82	観光振興/教育	30代	<p>【1】大型クルーズ船に寄港に合わせた釧路港朝マルシェの定期開催。 地元の美味しいパン屋さん、野菜、コーヒー、地酒、など釧路ならではの食と、おしゃれな雑貨が並ぶ朝マルシェ。クルーズ船の接岸が早くて朝7時から9時がほとんどなので、8時から12時まで限定の早朝マルシェとして特別感をだす。(地元の人もきやすく、その時間帯だけの駐車場無料開放あり。)できれば、クルーズ船を降りた付近の広場などをつかって、テントを張って屋外で開催。雨天時は、SNSで即座に発信し、雨の日特典をつける。(雨の日は一杯コーヒー無料)など。または、MOOの中など屋内で開催する場合は、釧路市ホームページや公式LINEでも発信すると同時に、クルーズ船を降りたすぐのところに、QRコードを用意し、船客に開催していることを案内する。</p> <p>【考えた理由や背景】 大型クルーズ船に乗ってきた海外の方が北大通で立ち止まっている様子を何度か見たことがありました。また、他県ではクルーズ船がきたときにはマルシェが開催されていたと聞いたことがあります。ハンドメイド品だけでなく、釧路のパンやコーヒー、スイーツ、地酒などの食も入れると喜ばれるのではないかと思います。マルシェが有名になることによって、釧路市のPRになるのと、地元の人でもマルシェにいけば面白いものがあると思う認識になれば、人がたくさんくるようになり、発展します。ネットで検索しても、日本全国あちこちの港で行われているのがわかります。まずはそのようなマルシェを開催する意欲のある民間事業者などを公募したり、マルシェ会議を開いて市民と協力し合うのはどうでしょうか。</p> <p>【2】学生ガイド、学生議会(会議)、お金や税金の教育を市独自で取り入れる。 学校での勉強が、直接社会に出てから、例えばひとりで生計をたてて生きるために役立つ知識かといえば、そうでないもの多くあります。(5教科など勉強をすることはとても大切ですが)たとえば、お給料をもらったときに基本給がいくらで、住民税等の税金や社会保険などが控除されて、手取りがいくらになるという基本的な仕組みも学生さんは当たり前知っているのでしょうか？また、その住民税などの税金はだいたいこれくらい働いていると、いくらくらいになって、その収めた税金は何に使われ社会を支えているのか？や、引かれた健康保険や年金はどうやって還元されるか？具体的なイメージがつくような学習も、もし今の高校生までの学習でなければ、あるといいと思いました。また、お金というものはどうしたらもらえるものなのか？という具体的な方法を教えることなど、もうそういう授業はありますか？</p> <p>学校では全体でやるとなると、どうしても一回限りや数回になってしまい、記憶に残ることが少ないと思います。各家庭で伝えられるようになると繰り返し伝えられ、わからないことはすぐ聞けるので効率がいいと思いますが、各家庭でのお金の教育を助ける企画をつくるなど、市と家庭が協力してできることはないでしょうか？たとえば、釧路市のキャリア教育として</p> <ol style="list-style-type: none"> ①生計を立てるまでのロードマップ作りワークショップの開催 ②雇用されている人の話を聞く会 ③起業をしている人の話を聞く会 ④株や投資をしている人の話を聞く会 ⑤税金について調べるワーク <p>などを考えます。</p> <p>楽しく進めるために、たとえば受講するたびにオンラインでポイントがたまり、修了すると、北大通のお店などでお買い物ができるなど。大人が与えようと思っていることと、学生が主体的になれるものの相違がある場合もあるので、学生にアンケートや学生社会人になるための作戦会議を開いて、聞いてみるいいと思いました。市内の子どもたちは英語は好きな子が多いでしょうか。実際に使ってみる機会をつくる。たとえばクルーズ船が降りた時に開催されるマルシェやすでに行われている催しに学生通訳を入れるのはどうですか？英語も実際に社会で使ってみる機会があるといいと思いました。議会のことも、お金のことと同じ仕組みで、投票したら実際にその1票は何になるのか？や選挙をするということの裏側を教えることはできるのではないかと思います。選挙をするということにも、お金がかかっているということを学生にもまずは知ってほしい。</p> <p>児童会や生徒会などがその一環、模擬練習だとは思いますが、主権者としての教育を釧路市でもできないかと思います。政治に参加するということはどういうことなのかを具体的にイメージできるように工夫できないでしょうか。釧路市の未来への投資として、教育がとても大事だと思うので、地方創生のアイディアと離れているかもしれませんが、提案させていただきました。</p>